

1 交付申請書（規則様式第1号）

若者チャレンジ型 申請書記載例

令和〇〇年〇月〇日

鳥取県知事 〇〇 〇〇 様

知事宛としてください。

申請書の提出日を記入してください。

住所 鳥取県〇〇町〇〇-〇〇

申請者 〇〇大学〇〇〇隊

代表 〇〇 〇〇

印
(団体にあっては、名称及び代表者の氏名)

氏名を自署する場合には、押印を省略することができます。
押印いただく場合は、団体の代表者印を押印してください。代表者印がない団体の場合は、代表者個人の私印でも支障ありません。

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金交付申請書

鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金の交付を受けたいので、鳥取県補助金等交付規則第5条の規定により、下記のとおり申請します。

該当する申請区分を記入してください。

記

補助事業等の名称	鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業（若者チャレンジ型）
算定基準額（見込み）	250,000円 収支予算書（様式第2号（第4条関係））に記載される算定基準額をご記入ください。
交付申請額	150,000円 上記算定基準額（見込み）に各申請区分に応じた補助率をかけた金額、あるいは補助限度額のうち、いずれか低い額を記載してください。
添付書類	1 事業計画書 2 収支予算書（に準ずる書類）

実際の申請に当たっては、規則様式第1号に挙げている「1 事業計画書」、「2 収支予算書」以外にも提出が必要な書類がありますので注意してください。

【参考：提出書類一覧】

区分	書類
若者活動支援型	1 交付申請書 2 事業計画書 3 収支予算書 4 団体規約 (規約がない場合は、団体の活動目的、活動概要がわかるチラシ・パンフレット、年間計画等) 5 構成員名簿（主要な構成員（10名以内）の氏名及び事業において果たす役割に係るもの。 ※生徒・学生は学校名および学年、10歳から25歳までの者は年齢を併記してください。） 6 事業計画を立案した際の会議の記録（事業計画の立案にあたり、若者の意見をどう反映したか分かるもの。） 7 その他申請事業の参考となる資料

2 事業計画書（様式第1号）

(1) 事業の区分

希望する区分の□に✓を記入してください。

1枚の事業計画書で申請できるのは、1事業のみです。

(2) 事業の名称

事業内容を端的に表してください。

(3) 事業の目的

事業実施することで実現しようとすることを、解決したい地域課題を踏まえて記入してください。（300字程度）

例) 活気のなくなった〇〇地域の活性化を図るため、地元食材を使った青空レストランを実施する。また、若者の県外流出を防ぐために高校生向けに大学生との交流会・相談会を開き、地域の魅力を再認識してもらうとともに、将来的に地元へ寄与したいという思いを醸成させるきっかけとする。

【審査の着眼点】「地域課題」「公益性」※別添の「審査項目、審査の観点、配点及び加重」をご参照ください。

- 例)
- ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合っているか。
 - ・活動内容が地域課題の解決に繋がるものとなっているか。
 - ・活動内容が地域社会の持続又は地域の住民にとって貢献度が高いか。
 - ・活動が申請者や一部の者の利益でなく、地域社会にとって利益となるものか。

(4) 地域の課題

本事業で解決しようとする地域の課題や住民ニーズ等について記載してください。

「地域の〇〇という課題のために、〇〇事業を行う。そうすると〇〇のような効果が出て、地域が〇〇になる」のように「何を」「なぜ」「どのように」等を組み合わせて記載してください。

例) 〇〇地域も高齢化や若者の減少が進み、地域に昔のような活気がなくなっているが、なんとか地域を盛り上げたいという思いがある。また、県外への若者流出にも歯止めをかけたい。青空の下、みんなで美味しい料理を食べながら会話をすれば、笑顔が生まれ、活気につながると考えた。そこで地元食材を使った青空レストランを開催し、地元食材の販売促進も行う。また、高校生向けの交流会・相談会を開き地域の魅力を知ってもらうことで、地元愛を育み将来的な若者の県外流出防止につなげる。

【審査の着眼点】「地域課題」「地域資源・人材」「地域への愛着」

- 例)
- ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、その課題が地域の実情に合っているか。
 - ・活動内容が地域の実情、ニーズに即しているか。
 - ・地域に存する固有の資源に着目し、取り入れた活動になっているか。
 - ・地域資源又は人材の活用により事業の効果を高めることが期待されるか。
 - ・地域をよりよく、住みやすくしたいという熱意が感じられる。

(5) 事業の効果

本事業が地域や社会に与える影響や効果について記載してください。

「〇〇することで、〇〇や〇〇といった人たち(〇人程度)に、〇〇という効果が与えられる」のように「どのように」「誰に」「どのくらい」等を組み合わせて記載してください。

例) イベントがきっかけとなり、来場者のそれぞれが地域についての問題意識を持ったり、共通意識を感じられれば、今後の地域おこしの第一歩となる。また、地域の特産品を使用することで、現在農業を行っている人にとっても地域外に知ってもらえるよい機会となると考える。特に、これからこの地域を担っていく高校生に対してアプローチをすることで、この先も活気あふれる持続可能な地域をつくることに繋がると考える。

【審査の着眼点】「公益性」

- 例)
- ・活動の内容が、地域社会の持続または地域の住民生活にとって貢献度が高いものであるか。
 - ・活動が、申請者やその関係者など一部の者だけの利益ではなく、地域社会にとって利益となるものか。
 - ・成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、又は積極的に情報発信を行う活動であるか。

(6) 実施体制

ア 事業を効果的に実施するために、誰が事業を実施するか、どのような関係者と連携を行うかを記入してください。

例) 〇〇大学〇〇〇〇隊
代 表 〇〇〇〇
副 代 表 〇〇〇〇 (交流会実施に関する責任者)
その他会員 〇〇名 (役割分担を行い、事前の準備・広報、当日運営にあたる)
その他、地域のボランティアが運営の補助を行うとともに、〇〇大学、〇〇高校に様々な面で協力いただく予定。

既に組織図等がある場合は添付いただき、「別添のとおり」と記入していただいても支障ありません。

イ 主要な構成員について、交付要綱別表 2 欄に定める基準に抵触していない場合は□に✓を記入してください。

【交付要綱別表 2 欄に定める基準】

主要な構成員のうち 3 分の 1 以上の者が、同一年度内に他の補助事業を行う団体等又は同一募集時期における他の申請者の主要な構成員と重複する

【審査の着眼点】「地域資源・人材」「顔の見えるネットワーク」「計画の実現性」

- 例)
- ・地域資源又は人材の活用により、事業の効果を高めることが期待されるか。
 - ・申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワークを活用する活動になっているか。
 - ・地域住民と連携をしながら行う活動になっているか。
 - ・主体的に取組を行うための体制が整えられているか、または体制整備が確実に見込まれるか。

(7) 事業内容

補助金を受けて実施する事業の内容を、「いつ、誰を対象に、どこで、何をどのように」実施するのかが明確に分かるように記入してください。実施される内容がわかるように、具体的に記載してください。

また、計画の実現性について、十分な体制のもと取組を主体的に行い、計画を実現することがわかるように記載してください。「〇〇の実現に当たっては〇〇と〇〇が協力し、十分な人数が確保できている」のように、「どのように」「誰が」等を組み合わせて記載してください。また、身近な行政組織（市町村役場）との関係性、連携についても記載してください。（「事業概要」に含めて記載しても構いません。）

計画から、時期や会場が変更となっても、事業が適切に行われれば支障はありません。（この場合、事前に相談してください。）

事業計画書や既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみをご記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策の徹底をお願いします。】

「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策を徹底し、政府又は県から催物（イベント等）の開催制限等の要請があれば、要請に従い、開催の中止、延期又は規模縮小等の対応を行う」旨を記載してください。

(1) 政府又は県による各種要請や留意事項等の厳守

政府又は県の新型コロナウイルス感染症特設サイトや報道機関等による最新の情報を注視し、各種要請や留意事項等を厳守の上、イベント等や補助事業の実施に係る打ち合せ等の感染拡大防止対策を行うとともに、要請等に応じた中止、延期又は規模縮小等（以下「中止等」という。）の対応を行ってください。

- ・ 政府（首相官邸）ホームページ
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c5>
- ・ 鳥取県新型コロナウイルス感染症特設サイト
<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-virus/>

(2) イベント等の開催の中止等に伴う手続き

補助事業の変更又は中止についてあらかじめ知事の承認が必要とされているため、イベント等の開催を中止等する場合は事前に相談してください。

(3) イベント等の開催の中止等に伴う経費の取扱い

ア 政府又は県からイベント等の開催制限等の要請に伴い、開催の中止等をした場合の取扱いは、次のとおりとします。

(ア) あらかじめ準備が必要な経費については補助対象とする。（例：広報費、会場のキャンセル料等）

(イ) イベント等開催日の直前に準備可能な経費は対象外とする。ただし、開催日直前に政府又は県から中止等の要請があった場合は、補助対象とする。（例：イベント等の当日に使用する原材料・消耗品に係る経費等）

イ 政府又は県からの要請を伴わない自己都合による中止等に係る経費は、申請者の負担とする。

<イベント等を実施する場合>

例) 事業実施予定日：〇年〇月～〇月頃 計〇回
対 象 者：〇〇地区住民、〇〇地区近隣住民
参加予定人数：〇〇名（各回〇名）
開 催 場 所：〇〇
事 業 概 要：・青空レストランを開催する。
・食事をしながら〇〇大学のアカペラサークルによるライブを楽しんでいただく。
・来場者には会場内に設置する販売所で使える割引券を配布し、地元食材を買って帰っていただくことに繋げる。
計画の実現性：青空レストランについては、チラシ、SNS及び地域の防災無線等で告知をして、〇〇人程度の来場が見込まれるので、対応可能な人数のスタッフを確保している。また、地域の方から死蔵品の食器や備品を譲り受けるため、新たな備品の調達は不要。運営については、〇〇隊は地域外イベントに屋台を出店している実績がある。
高校生向けの交流会・相談会については〇〇高校協力のもと、アンケートを取り、高校生の悩みや実態に合った会にする。
事業完了予定日：〇年〇月〇日

<交流拠点を整備する場合>

例) 施設の所在地：〇〇市〇〇町〇〇
施設の使用状況：以前は喫茶店として使用、〇〇年前から空き家
修 繕 内 容：窓の取り換え
着 手 予 定 日：令和〇〇年〇月 下旬
事 業 概 要：週2回（土・日）、大学生による高校生を対象とした交流会・相談会を実施し、地元への関心を高める場とする。（別添計画書参照）
事業完了予定日：〇年〇月〇日

※県内産業の振興のために、補助事業に伴う発注をできる限り県内事業者にしていただくようお願いしています。対象経費が委託費の場合で、県内事業者への発注が困難な場合は、その理由を事業内容の欄に記載していただきます。発注が難しい場合は、事前に相談をしてください。

【審査の着眼点】「計画の実現性」

例)・活動実施のための具体的な場所、手段が示され、必要なノウハウが備わった計画になっているか。
・活動実施のための具体的なスケジュールが示されているか。

(8) 個別項目「地域への愛着」「新規・拡充性」

以下を参考に、該当する個別項目に対応する事業の特色を記載してください。

「〇〇と〇〇という新たな工夫をすることで、〇〇や〇〇という効果を得ようとする」のように「誰が」「どのように」「誰に」「どのくらい」等を組み合わせて記載してください。

例) 青空レストランの開催に至る過程で、自分達で作れる食材は作ろうと思い、地域の農家さん協力のもと自ら育てたことで、地元食材の美味しさや自然に恵まれたこの地域の魅力を多くの人に知ってほしいという思いが強くなった。そこで、ただのレストランではなく「青空の下」、「地元食材の販売」という話題性の大きい内容にして幅広い地域・世代からの集客を図る。また、高校生向けの交流会・相談会では、県内就職している〇〇隊や〇〇大学の卒業生をゲストとして呼び、鳥取に住み続けることの良さを伝え、将来の鳥取での暮らしを具体的に想像できるような内容にすることで、県外に出てそのまま県外で就職する若者が多いという問題の解決策の一つとしたいと考える。

【審査の着眼点】

別添の「審査項目、審査の観点、配転及び加重」の「地域への愛着」、「新規・拡充性」をご参照ください。

(9) 他の補助金等の活用の有無

本事業において活用する予定の他の補助金、助成金等があれば、その名称、事業内容及び助成元の部署・団体名を記載してください。

例) 〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）50,000円（※申請予定）

(10) 過去3年間の活動実績

団体として過去3年間に取り組んだ活動実績（時期及び活動内容）及び令和新時代創造県民運動推進補助金〔令和元年7月4日以前のトットリズム推進補助金〕の活用実績を記載してください。

近年の全ての取組みを記載いただく必要はありません。年間の活動報告などがある場合は、それを「別紙参照」として添付していただいても構いません。今までの取組みを知ること、申請事業の「計画の実現性」（実績のある団体の方が、実現性は高いと評価されやすくなります）や「新規・拡充性」（過去の事業と比べて、新たな工夫や展開が見られるほうが評価されやすくなります）の参考となります。

平成29年度	9月	〇〇市駅前祭への出店（地元特産品の販売。6名の参加）
平成30年度	9月	〇〇町農林水産祭への出店（地元特産品を使った加工品を販売。11名参加）
令和元年度		〇〇〇事業で令和新時代創造県民運動推進補助金「若者活動支援型」活用

(11) 関係法令の遵守

関係法令の遵守をご確認のうえ、欄に✓を入れて下さい。事業を実施するにあたり、関係法令を遵守していただくための注意喚起です。関係法令等の例は、募集要項を参照してください。

(12) 鳥取県令和新時代創造県民運動実践団体への登録

鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金を活用して事業に取り組む団体は、特段の支障がない限り鳥取県令和新時代創造県民運動実践団体として登録いただき、地域づくりに関する各種情報の収集、発信などにより効果的な地域づくり活動に取り組んでいただくこととしています。

欄に✓を入れてください。**※既に登録している場合は「登録済」に✓を入れてください。**

令和新時代創造県民運動実践団体に登録することで、ご自身の団体のイベント情報、ボランティア募集情報、団体情報等を当課が運営するサイトに掲載し、情報発信することができます。ご希望であれば各種助成金情報、イベント情報等のメルマガ配信も可能です。ご登録は以下URLから可能です。

http://totorism.pref.tottori.jp/login_menu.php

(13) 消費税の取扱い

該当する区分にの欄に✓を入れてください。

- 一般課税事業者** 基準期間（前々事業年度）の課税売上高が1,000万円を超える事業者
- 簡易課税事業者** 課税事業者の中で前々年の課税売上高が5,000万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者
- 免税事業者** 基準期間（前々事業年度）の課税売上高が1,000万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が1,000万円以下の事業者

(14) 担当者連絡先

申請書の内容についての問い合わせや相談に対応いただくとともに、活動をフォローしていただける成人の方のお名前と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。

3 収支予算書（要綱様式第2号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第2号（第4条関係）

〇〇年度鳥取県令和新时代創造県民運動推進補助事業収支予算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
県補助金	150,000	令和新时代創造県民運動推進補助金（若者チャレンジ型）
自己資金	100,000	寄附金
参加費① （入場料、出展料等）		NPO 法人の賛助会費等、団体の活動全般に対する寄附は自己資金。 当該事業を実施するための寄附はその他収入となります。
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕		
合計	250,000	

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	需用費	45,000 テント：10,000円×4=40,000円 テーブルクロス：500円×10=5,000円
	委託費	25,000 ロゴデザイン料（業者に委託）
	使用料・賃借料	17,700 音響レンタル：14,700円 公民館使用料：3,000円
	印刷製本費	3,000 チラシ A4コピー 20円×100枚=2,000円 割引券印刷費：10円×100枚=1,000円
	原材料費	33,000 イス・テーブル製作材料費：28,000円 塗料代：5,000円
	消耗品費	116,300 「青空レストラン」「交流会・相談会」食材費：107,200円、 事務用品：2,000円（概算）、ペンキブラシ：1,000円×5本=5,000円 割り箸：100円、紙コップ：200円、紙ナプキン：100円 ビニール手袋：100円、キッチンペーパー：600円、食用油：1,000円
	光熱費	10,000
	補助対象経費計③	250,000
	補助対象外経費	なし
補助対象外経費計		0

○支出の区分は、募集要項の例を参考としてください。

○経費について、事前に確認をするか、不足することがないように概算（多めに）で積算をしてください。

ただし、明らかに過剰な積算や、事業に必要なあるいは効果的とは思えない支出が含まれる場合は「補助金の有効活用」の評価に影響します。

○予算額の内訳について説明できるよう、単価や数量をできるかぎり記載してください。

○委託費、工事請負費については、原則として、県内事業者への発注を要件とします。県外事業者へ発注する際は事前にご相談の上、理由書を提出してください。

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 250,000 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③250,000円 - (参加費① + その他の収入②) 0 = 250,000円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

記載例2 (参加費、その他の収入がある場合)

様式第2号 (第4条関係)

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業収支予算書

(単位：円)

収入の部

区 分	予算額	積算内訳
県 補 助 金	150,000	令和新時代創造県民運動推進補助金 (若者チャレンジ型)
自 己 資 金	0	
参 加 費 ① (入場料、出展料等)	50,000	青空レストラン来場料 一人500円×100人=50,000円
その他の収入 ② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	50,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 50,000円
合 計	250,000	

事業実施にあたって見込まれる全ての収入について記載してください。今後申請を予定している他の補助金やイベント等での販売・入場料収入なども、見込額で記載してください。

申請時よりも収入が増加した場合は、補助金額が減少する可能性があります。実際にあった収入は適切に報告してください。(後日、補助金の返還を求める場合があります。)

区 分	予算額	積算内訳	
補 助 対 象 経 費	需用費	45,000 テント：10,000円×4=40,000円 テーブルクロス：500円×10=5,000円	
	委託料	25,000 ロゴデザイン料 (業者に依頼)	
	使用料・賃借料	17,7000 音響レンタル：14,700円 公民館使用料：3,000円	
	印刷製本費	3,000 チラシ A4コピー 20円×100枚=2,000円 割引券印刷費：10円×100枚=1,000円	
	原材料費	33,000 イス・テーブル製作材料費：28,000円 塗料代：5,000円	
	消耗品費	116,300 「青空レストラン」「交流会・相談会」食材費：107,200円 事務用品：2,000円(概算)、ペンキブラシ：1,000円×5本=5,000円 割り箸：100円、紙コップ：200円、紙ナプキン：100円 ビニール手袋：100円、キッチンペーパー：600円、食用油：1,000円	
	光熱費	10,000	
	補助対象経費計 ③	250,000	
補 助 対 象 外 経 費	なし	0	なし
	補助対象外経費計	0	
合 計	250,000		

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 150,000 円

記載例2における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③ 250,000円 - (参加費① 50,000円 + その他の収入② 50,000円) = 150,000円

※参加費、その他収入があるので減算します。

記載例3 (補助対象外経費がある場合)

様式第2号 (第4条関係)

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業収支予算書

収入の部

(単位：円)

区 分	予算額	積算内訳
県 補 助 金	150,000	令和新時代創造県民運動推進補助金 (若者チャレンジ型)
自 己 資 金	15,000	寄附金
参 加 費 ① (入場料、出展料等)	50,000	青空レストラン来場料 一人500円×100人=50,000円
その他の収入 ② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	50,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 50,000円
合 計	265,000	

支出の部

(単位：円)

区 分	予算額	積算内訳
補 助 対 象 経 費	需用費	45,000 テント：10,000円×4=40,000円 テーブルクロス：500×10=5,000円
	委託料	25,000 ロゴデザイン料 (業者に依頼)
	使用料・賃借料	17,700 音響レンタル：14,700円 公民館使用料：3,000円
	印刷製本費	3,000 チラシ A4コピー 20円×100枚=2,000円 割引券印刷費：10円×100枚=1,000円
	原材料費	33,000 イス・テーブル製作材料費：28,000円 塗料代：5,000円
	消耗品費	116,300 「青空レストラン」「交流会・相談会」食材費：107,200円 事務用品：2,000円(概算)、ペンキブラシ：1,000円×5本=5,000円 割り箸：100円、紙コップ：200円、紙ナプキン：100円 ビニール手袋：100円、キッチンペーパー：600円、食用油：1,000円
	光熱費	10,000
	補助対象経費 計 ③	250,000
補 助 対 象 外 経 費	食糧費	12,000 スタッフ昼食代 800円×15名=12,000円
	交通費	3,000 スタッフ所有車両使用料
	補助対象外経費 計	15,000
合 計	265,000	

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付(会議の茶菓、懇親会経費など)は対象外ですが、講師に提供する昼食等、必要最低限のものは対象となります。
○個人給付的な経費は対象外です。(講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費除く)

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 150,000 円

記載例3における算定基準額の算出の仕方は、
補助対象経費③250,000円 - (参加費① + その他の収入②)100,000円 = 150,000円
※補助対象外経費は含まずに算出します。

<別添>審査項目、審査の観点、配点及び加重

	項目	観点	配点・加重
1	地域課題	ア. 事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合ったものである。 イ. 活動内容が地域課題の解決につながるものとなっている。 ウ. 活動内容が地域の実情、ニーズに即している。	5点
2	地域資源・人材	ア. 地域に存する固有の資源（特産品、名所、伝統文化等）に着目し、とり入れた活動である。 イ. 地域で既に活躍する、または潜在する人材に着目し、とり入れた活動である。 ウ. 地域資源または人材の活用により、事業の効果を高めることが期待される。	10点 (5点満点×2倍)
3	地域への愛着	ア. 地域をよりよく、住みやすくしたいという熱意が感じられる。 イ. 地域を支える人材の育成につながり、地域への愛着が形成・強化される活動である。 ウ. 活動の開始にあたっての熱意や意欲、地域への愛着が申請書から感じられる。	10点 (5点満点×2倍)
4	公益性	ア. 活動の内容が、地域社会の持続または地域の住民生活にとって貢献度が高いものである。 イ. 活動が、申請者やその関係者など一部の者だけの利益ではなく、地域社会にとって利益となるものである。 ウ. 成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、または積極的に情報発信を行う活動である。	10点 (5点満点×2倍)
5	計画の実現性	ア. 若者が主体的に取り組むを行うための体制を整えている、または体制整備が確実に見込まれる。 イ. 活動実施のための具体的な場所、手段（ツール）が示され、必要なノウハウが備わった計画となっている。 ウ. 活動実施のための具体的なスケジュールが示されている。	10点 (5点満点×2倍)
6	補助金の有効活用	ア. 活動内容に対して、予算規模が適正な計画となっている。 イ. 活動目的の達成のために適切な支出使途が検討された計画となっている。 ウ. 事業規模にかかわらず、費用対効果が期待される。	10点 (5点満点×2倍)
7	新規・拡充性	ア. 若者が新たに第一歩を踏み出す活動、従来からの取り組みから規模を拡大または工夫を加えた活動。 イ. 県内での取り組みとして独自性（オリジナリティ）がある。 ウ. 県内の取り組みとして目新しさ（革新性）やチャレンジ性が感じられる。	5点
7項目、60点満点			